

平成29年度 第4回中区協議会

会議資料

【報告事項】

ア 平成30年度予算編成に対する区重点提案事業について

平成29年8月28日開催

中区協議会

第9号様式

区 協 議 会

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input type="checkbox"/> 協議事項 <input checked="" type="checkbox"/> 報告事項
件 名	平成30年度予算編成に対する区重点提案事業について
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>市では、翌年度の予算編成に向けて、区協議会をはじめとする地域の皆様から意見・要望を伺い、本庁・区役所間の予算・政策等に係る情報共有及び協議調整を行う制度として、「区重点提案事業制度」があります。</p> <p>この制度に基づき、先月開催の区協議会で、委員の皆様の意見を伺うとともに、中区各課からも意見聴取を行い、中区として10事業を本庁所管課に対して区重点提案事業として提出するもの。</p>
対象の区協議会	中区 区協議会
内 容	平成30年度予算編成に対する区の重点提案事業を別紙のとおりとし、本庁所管課の方向性（課題に対する考え方、予算要求の有無等）を聴取するもの。
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	
担当課	中区区振興課

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

平成30年度予算編成に対する区の重点提案事業(中区)

No.	事業内容	緊急性	区所管課	本庁所管課	備考
1	高台協働センター 体育館排煙窓開閉装置 修繕工事	A	まちづくり推進課	市民協働・地域政策 課	
2	佐鳴台協働センター 西側駐車場整備工事	A	まちづくり推進課	市民協働・地域政策 課	
3	学習等供用施設「富塚西会館」「和合会館」 「葵西会館」整備事業	A	まちづくり推進課	創造都市・文化振興 課	
4	クリエート浜松 3号機(搬入用)エレベータ更 新工事	A	まちづくり推進課	創造都市・文化振興 課	
5	浜松復興記念館 外壁改修工事	A	まちづくり推進課	公共建築課 (創造都市・文化振興 課)	
6	北部水泳場 屋外プールオーニング窓等改 修工事	A	まちづくり推進課	スポーツ振興課	
7	佐鳴台協働センター 自動火災報知設備更 新工事	B	まちづくり推進課	市民協働・地域政策 課	
8	武道館 観覧席床面(2階部分Pタイル)改修 工事	B	まちづくり推進課	スポーツ振興課	
9	防災情報取得方法の市民への周知・啓発事 業	A	区振興課	危機管理課	区協議会 委員意見
10	佐鳴湖周回遊歩道整備事業	A	区振興課	公園管理事務所	区協議会 委員意見

平成30年度予算編成に対する区重点提案事業（案）

中区各課からの提案

No.	事業名	課題	事業内容	所管課	緊急性	提案課
1	高台協働センター 体育館排煙窓閉閉装置修繕工事	<ul style="list-style-type: none"> ・高台協働センター附設体育館の排煙窓の電動式開閉装置が故障し、窓が開閉できない状態になっている。 ・建築基準法第35条及び建築基準法施行令第116条の第2第1項2号に違反となるため改修を行う必要がある。 ・火災等緊急時の対策のほか、夏場は熱中症対策として換気窓としての役目を果たすことができ、施設の利用者から修繕を要望する声が多く挙がっている。 	オペレーター（12セット）、モーター（12台）、スイッチ（24個）更新 ・既存部品撤去及び処分 ・新規部品取付 《参考見積》3,618千円（平成27年見積もり）	市民協働・地域政策課	A	まちづくり推進課
2	佐鳴台協働センター 西側駐車場整備工事	<ul style="list-style-type: none"> ・佐鳴台協働センターは、身障者用1台を含め20台が駐車できる駐車場を施設西側に持っているが、路面はインターロッキング構造となっている。 ・設置後31年を経過し、駐車車両の通行からインターロッキングの一部が崩れ、石の隙間が大きい部分が出てきた。利用者には注意を呼び掛けているが、この隙間に足を取られて躓く人もいる。このまま放置すれば、今後いっそうインターロッキングの破損が続き、歩行者が躓きやすくなり、利用者の大怪我につながる恐れがある。 ・平成24年度に特に損傷の大きかった駐車場出入口部分の38㎡を、インターロッキングからアスファルト舗装に替える工事を行った。残り281㎡もアスファルト舗装にしていきたい。 	西側駐車場整備工事 281㎡ インターロッキング撤去 1式 アスファルト舗装 1式 《参考見積》1,782千円（平成29年見積もり）	市民協働・地域政策課	A	まちづくり推進課
3	学習等供用施設「富塚西会館」「和合会館」「葵西会館」整備事業	「富塚西会館」は建築後18年、「和合会館」は49年、「葵西会館」は32年が経過し老朽化が進んでいるため、施設を管理する自治会から改修の要望書が提出された。 ①「富塚西会館」：屋上防水、照明、空調設備等の改修要望（富塚町西自治会） ・屋上防水の劣化や外壁クラックを改修することにより雨水の侵入防止。 ・照明器具や空調機器の経年劣化による不具合を改修したい。改修にあたっては、LED照明や個別空調への変更によりエネルギー効率化を図る。 ・事務室狭小によりロビーで事務作業を行っているため、物入れを改修し事務所機能を持たせたい。 ②「和合会館」：トイレ改修要望（西和自治会） ・トイレ及び湯沸し室の段差解消を行うとともに、男女兼用のトイレを男女別に区分化する工事を行いたい。 ③「葵西会館」：外壁、集会室等クロス張替え改修要望（葵西自治会） ・外壁のクラックが著しく、雨水の侵入を防ぐために修繕を行いたい。 ・集会室等各部屋のクロスの剥がれがひどくなってきたため、張替えをしたい。	①「富塚西会館」 《参考見積》22,964千円 屋上防水改修、照明器具LED化、空調機器改修、事務室レイアウト変更 ②「和合会館」 《参考見積》1,962千円 トイレの男女区分化、トイレ及び湯沸し室のバリアフリー化 ③「葵西会館」 《参考見積》6,019千円 外壁クラック改修、2階集会室等のクロス張替え	創造都市・文化振興課	A	まちづくり推進課
4	クリエート浜松 3号機（搬入用）エレベーター更新工事	<ul style="list-style-type: none"> ・クリエート浜松は建設から29年が経過し、経年劣化により設備の老朽化が進んでいる。 ・3号エレベーターは、日本で使用されている一番古い形式のものを現在使用しているため、既に部品の製造が終了しており、故障しても修理不能である。また、既存不適格を指摘されている。 ・3号エレベーターは資機材搬入用として業者だけでなく、施設利用者も使用している。その他のエレベーターは人員用であり、入口も狭く、大きな荷物や重いものを搬入することができない。 ・ホールとギャラリーは稼働率が非常に高く、イベントの催しや、作品の搬入が頻繁に行われ、3号エレベーターの利用が不可欠である。故障で使用不能となった場合は利用者に不便をきたすだけでなく、イベント等が中止になることも考えられる。施設の賞出にも支障があるだけでなく、さらに補償問題に発展する可能性がある。 	・既存不適格を解消するためのリニューアル工事。 《参考見積》本体工事一式：74,520千円	創造都市・文化振興課	A	まちづくり推進課
5	浜松復興記念館 外壁改修工事	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松復興記念館は、開館から29年間が経過しており、施設等の老朽化が顕著である。 ・外壁タイルの浮きやひび割れ等が多くの箇所で見られ、タイルの落下についても報告がされている。今後、駐車場への物損事故及び人身事故につながる恐れも考えられる。 ・施設の安全及び長寿命化を図る意味でも、外壁補修工事は重要である。 	経年劣化した外壁タイルの改修工事。 《参考見積》 ・設計委託費 481千円 ・工事監理委託費 420千円 ・外壁工事一式 5,955千円	公共建築課（創造都市・文化振興課）	A	まちづくり推進課
6	北部水泳場 屋内プールオーニング窓等改修工事	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市北部水泳場は年間14万人を超える来場者がある施設であるが、建築後20年が経過し、設備等の老朽化が進んでいる。 ・特に屋内プールのオーニング窓枠の損傷が顕著であり、窓がうまく閉まらない、又は開かない箇所がある。 ・原因としては老朽化とサッシ内鉄部の腐食による内部体積膨張が考えられる。 ・腐食した鉄部は床面（プールサイド）に落ち、裸足で歩く利用者の足に刺さる等、大怪我につながる可能性がある。 ・窓が開いたまま閉まらなくなれば、空調の利きが悪くなり利用者にも不便をかける他、防犯上のリスクも発生する。 ・5ヵ年計画で分割工事を実施する場合、1工事を行うごとに1週間ほどの休館を伴うため、利用者にも影響があると同時に、工事調整が必要になる。工事の総日数と総金額も増加するため、年末年始の短期間（約2週間）を休館にして一括工事を実施するほうが効率的である。 	屋内プールオーニング窓等改修工事 一式 《参考見積》6,394千円	スポーツ振興課	A	まちづくり推進課

7	佐鳴台協働センター 自動火災報知設備更新工事	<ul style="list-style-type: none"> ・佐鳴台協働センター自動火災報知設備は設置後31年が経過し、機器の経年劣化が見られる。受信機のバッテリーを中心に劣化が進んでいる状況にある。 ・正常な機能維持の確保のため設備更新をするもの。消防設備保守点検業務の委託業者から設備更新を勧められている。 ・設置後の更新を必要とするおおよその期間（業者から聞き取り） 自動火災報知設備：受信機（20年）、感知器（10～15年）、発信機（20年）、地区音響装置（20年） 非常放送設備：非常放送設備（10～12年） 誘導灯：電池内蔵型（8～10年） 	自動火災報知設備更新 ・受信機 1台 ・感知器 57個 ・消防申請書類作成 1式 《参考見積》3,391千円（平成29年見積もり）	市民協働・地域政策課	B	まちづくり推進課
8	武道館 観覧席床面(2階部分Pタイル)改修工事	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松市武道館は設置後40年が経過しており、施設等の老朽化が顕著である。特に2階通路のPタイルの劣化により、多くの場所で割れ・剥がれが生じている。 ・高齢者や女性、子供の利用もあり、引っ掛けて転びケガをする恐れがある。 ・雨の日は滑りやすくなるため、特に危険であり、スリップ防止のPタイルを施工する必要がある。 ・平成28年12月に、1階ロビー部分と西側階段のPタイルを改修工事した。 ・現在は応急処置として割れた部分は補修して使用している。 	武道館 観覧席床面(2階部分) Pタイル改修工事 《参考見積》4,170千円	スポーツ振興課	B	まちづくり推進課

区協議会委員意見に係る提案

No.	事業名	課題	事業内容	所管課	緊急性	提案課
9	防災情報取得方法の市民への周知・啓発事業	<p>近年、気象の変動に伴い、全国各地で局地的なゲリラ豪雨が発生している。局地的なゲリラ豪雨の場合、河川の急激な増水や住宅地での浸水被害などが発生する危険性が高く、地域住民に対していち早く情報の伝達が必要である。</p> <p>浜松市では、防災・災害の情報を市のホームページ、テレビのデータ放送、ラジオ等で発信するほか、市からのメール配信サービスである「浜松市防災ホットメール」により各種情報を発信している。</p> <p>特に、「浜松市防災ホットメール」は、緊急情報、気象情報、避難場所の情報など地域に密接な情報をダイレクトに住民に知らせる良いツールであるが、市民への周知度がまだまだ低い状況である。</p> <p>こうしたことから、「浜松市防災ホットメール」の更なる周知と登録者数の増が喫緊の課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「浜松市防災ホットメール」の登録者数を増やすため、広報はままつや全戸配付のパンフレットなどにより周知を行う。（区版避難行動計画の更新でも可） ・合わせて各種防災情報の取得方法についても周知し、住民自ら災害の状況を知ることができる対策を行う。 	危機管理課	A	区振興課（区協議会意見）
10	佐鳴湖周回遊歩道整備事業	<p>佐鳴湖においては、北岸の公園が整備されたこともあり年間40万人を超える来園者があり、より安全で魅力的な公園となることが求められている。</p> <p>しかしながら、現在、北東岸の一部に人のすれ違いも困難な狭い箇所がある。この箇所については、以前から地元自治会等からも要望がなされているが、現在まで解消がされていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの来園者がある自然豊かな市民憩いの場であることから、周遊道の拡幅を行い、安全で魅力的な公園の整備 	公園管理事務所	A	区振興課（区協議会意見）